

# 林修の特別授業

おなじみの林修先生が、今気になるテーマをわかりやすく解説。  
「協同組合」第5回の今回は、協同組合だからこそ実現できる、地域の暮らしを守る様々な取り組みを説明します。

【今日のテーマ】

協同組合  
第5回

地域の暮らしを守る

## 助け合いの精神が「共済」の理念 みんなの支え合いが「もしもの時」につながっています。

林 今回は、協同組合の「助け合い」の活動を見ていきましょう。地震や台風などの自然災害、病気やケガなどの「もしもの時」に備え、農業協同組合（JA）では「共済事業」を行っています。生活における様々なリスクに対して保障を提供し、組合員やその家族、地域住民の暮らしと将来の安心を守ることが目的です。

上川 「保険」とはどう違うのですか。

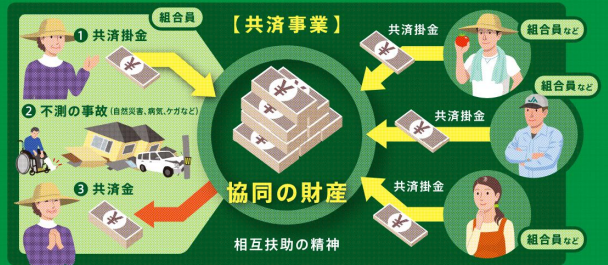
林 災害や事故などに見舞われた時、生活を守るためのお金を受け取ることができるのは同じですが、共済の「済」には救う、助けるという意味があり、不測の事故があった時に支払われる「共済金」の原資は、組合員があらかじめお金を出し合って準備した協同の財産という位置付けです。利益追求を目的としない、利用者同士の「助け合い」の制度であることが、共済事業の大きな特徴といえるでしょう。

上川 共に救う、お互いを助けるから「共済」なんですね。

林 そう、つまり共済事業は、「一人はみんなのために、みんなは一人のために」という協同組合の精神を保障制度で実現しているんです。

上川 共済には、どのような種類がありますか。

林 病気・ケガ、老後の備えや自動車事故など、暮らしの「もしも」に備えるものから、火災や地震、台風など予測できない「もしも」に備えるものまで幅広い保障があります。生活を取り巻く様々なリスクに備えることで、組合員やその家族、そして地域住民が安心して豊かな毎日を送ることができるようサポートしているのが「共済」なんです。



【自然災害時の対応事例】



一軒一軒を訪問した損害調査活動  
早期に共済金をお受け取りいただけるよう  
JAとJA共済が連携して損害調査を行っています。



災害シート  
自然災害などの被害にあった契約者を対象とした  
救援活動で、生活の立て直しを支援しています。

## 日本全国津々浦々、地域の安心を提供するための事業を展開

## 農山村住民の健康を守るため 地域の医療や健康管理を担っています。

上川 でも先生、「安心を守る」って災害や事故に備えることだけじゃないですよ。JAでは、地域の健康づくりの取り組みも行って聞きましたけど。

林 よく知っていますね。地域の人たちの健康を守るため、地域の実情に合わせて、農村検診センターを設置したり検診車を巡回させて健康診断を行っています。また、全国32の都道県で33の連合会を組織して、108病院・65診療所などを設置・運営しています（2017年3月現在）。高度医療に対応できる病院もあるんです。

上川 いざという時、遠くの病院まで行かなくていいと思うと安心ですね。

林 へき地など人口が少ない地域は経営が厳しいですが、医療はもちろん必要です。JAの病院は、4割強の46施設が人口5万人未満の市町村にあり、その地域の人にとっては貴重なライフラインとなっています。利益追求ではなく、協同組合の「みんなが地域を守る」理念があるからこそ、実現できる取り組みといえますね。



JA長野厚生連  
富士見高原医療福祉センター  
富士見高原病院



富士見高原病院は、救急医療から介護と在宅ケアまで担う、  
地域医療の拠点です。



それぞれの地域でより良く過ごしていくために、  
実は協同組合が担っている役割も多いですね。

災害の時などの備えや地域の健康が、みんなの力で  
支えられているのは、心強い感じがします。

✓今日のまとめ

みんなの支え合いで地域の安心を守る。それが協同組合。

予告 協同組合 第6回は1月中旬ごろ、  
「食の安全を守る」をテーマに  
掲載の予定です。

BS朝日「林先生が世の中のギモンを徹底解説  
「よくわかる! なっとく授業。」2018年2月放映予定!

東進ハイスクール 講師

林修先生

はやし・おさむ / 東京大学法学部卒業。東進のTVコマ  
シャルのセリフ「今でしょ!」が2013年新語・流行語  
大賞に、選挙前から絶大な信頼を得る傍ら、多数のTV  
レギュラー番組を担って忙し日々を送る。

モデル

上川あいりさん

かみかわ・あいり / 1999年生まれ。中学3年生の時にスカウトされる。  
現在は現役高校生モデルとして活動し、朝日新聞大学入試キャンペーン  
イメージキャラクターを務める。



耕そう、大地と地域の未来。 JAグループ